

いにしえの路

2026

3

MARCH



「今年一年を振り返って」

早いもので、今年度も残りわずかとなりました。この一年を振り返ると、皆さまにとってどのような時間だったでしょうか。

釧路地域では、7月末にカムチャッカ半島での地震の影響により津波警報が発令されました。釧路での揺れは大きくはなかったものの、横揺れが続き、3.11を思い出すような地震でした。津波注意報から警報へと切り替わった際には、通常体制から避難体制へ移行し、利用者の安全確保に向けて慌ただしい時間もありました。一方で、町の様子は比較的落ち着いており、営業を休止する店舗と通常営業を続ける店舗が混在していました。今回の経験を通して、送迎車の備品や備蓄品の見直しを行う機会にもなりました。

また、夏には北海道で初めて線状降水帯が釧路市音別で発生し、12月には珍しい大雪、1月には雷雨と、天候の不安定さが目立つ一年でもありました。自然災害は予測が難しく、日頃からの備えの大切さを改めて感じさせられました。

この一年、くしろ地域生活支援センターでは、各事業を利用される皆さま一人ひとりの生活や成長に寄り添いながら、日々の支援を積み重ねてまいりました。児童発達支援、グループホーム、相談支援などの場面では、子どもたちの表情や行動の変化、できることが少しずつ増えていく姿、自分の思いを伝えようとする姿が見られました。グループホームでは、利用者の皆さまが安心して自分らしく過ごされる様子や、生活の中での小さな達成を共に喜ぶ時間を重ねてきました。その都度、ご家族や関係機関の皆さまと連携しながら、より良い支援の在り方を考えることが、私たち職員にとって大きな学びとなっています。

まもなく新年度を迎えます。進級・進学や職員の異動など、環境の変化に不安を抱く時期でもありますが、皆さまが安心して過ごせるよう、一人ひとりに寄り添った支援を大切にしていまいります。

なお、くしろ地域生活支援センターでも変化があり、3月末をもって「厚岸町子ども発達支援センター」の委託が終了し、白糠学園の閉園に伴い実施している「ショートステイふみぞの」は場所を移転する予定です。

最後になりましたが、今年度もくしろ地域生活支援センターの運営にご理解とご協力を賜りましたことに、心よりお礼申し上げます。新しい年度も変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

くしろ地域生活支援センター
副所長 工藤美紀

一日の流れ

▼釧路町障害者地域活動支援センター「ほっと」、ショートステイ「ふみぞの」、くしろ地域生活支援センター総務課、釧路町児童発達支援センター「のびっと」の1日の流れを紹介します。

釧路町障害者地域活動支援センター「ほっと」

朝は、まず利用者さんのお迎えからスタートします。グループホーム（GH）などからの引き継ぎを受けた後、利用者さんを「ほっと」でお迎えし、検温や血圧測定を行います。

その後、朝の会で1日の予定を利用者さんにお伝えし、レクリエーションや創作活動に取り組みます。創作活動では作品作りを行い、月に1度は調理活動やコンビニへの外出なども実施しています。入浴支援が必要な方には、入浴介助を行います。

昼食は職員と利用者さんが一緒にとり、午後はお茶やコーヒーを飲みながら、ゆったりとした時間を過ごします。

夕方には送迎を行い、グループホームやご家族に1日の様子や特記事項をお伝えして、業務終了となります。

（事業所長 畑山）



ショートステイ「ふみぞの」

くしろ地域生活支援センターでは、日中一時支援事業と短期入所事業を行っており、利用者は養護学校に通う高校生です。日中一時支援では、まず養護学校へ迎えに行き、寄宿舍や学校での様子の引き継ぎを受けてからショートステイふみぞのへ移動します。活動は、月の制作やDVD鑑賞、おやつの時間があって保護者の迎えを待つのが基本です。天気の良い日は近くの公園に散歩に出かけたり、地震や火災を想定した避難訓練を年に2回行っています。

短期入所事業は、主に学校の長期休暇中に利用され、食事や入浴の介助を行い、また睡眠や排便など、利用中の健康管理も徹底して行っています。

そのショートステイふみぞのですが、3月いっぱい建物を引き上げることになりました。ですが、日中一時支援事業は場所を変え、次年度も行う予定です。活動の内容は、場所に合わせて変更になると思いますが、楽しく利用してもらえるように職員一同、精一杯考えていきたいと思っています。

（支援員 堀）



くしろ地域生活支援センター総務課



8:45	始業・朝礼	メールチェック、1日のスケジュールや連絡事項の確認
9:00	事務業務	電話・メール・来客対応、書類作成、ファイリング、データ入力等
12:15	お昼休憩	
13:00	事務業務	銀行入金・振込対応、経費精算、備品管理・発注、郵便物発送等
17:15	終業準備	事業所内清掃、翌日の業務内容確認、書類整理等
17:30	終業、退社	



上記の他に、職員の勤怠管理・福利厚生・社会保険手続き・給与処理、予算の作成、利用者の方へ郵送する請求書の作成等を行っています。

(主事 松浦)

釧路町児童発達支援センター「のびっと」



8:45	朝の打ち合わせ	今日のお子さんの状況を把握したり、職員の動向、今日の取り組みなどを確認します。
9:00	療育準備・送迎	各グループごとに、今日の流れを確認したり、療育の準備をします。町内のお子さんを送迎バスにてお迎えに向かいます。



長時間クラス (毎日通園)		短時間クラス (週1、2回)	
10:00	登園・身支度	9:30	登園・身支度・運動遊び
10:30	運動遊び・余暇活動・お集まり・設定活動・個別課題	10:00	お集まり・設定活動
11:30	給食準備	10:30	個別課題・余暇活動・おやつタイム
12:00	給食	11:00	降園
13:00	運動遊び・余暇活動・設定活動・個別課題	11:30	給食準備のお手伝い
13:45	身支度	12:00	記録作成・休憩
14:00	降園・送迎	13:30	午後の活動の準備
15:00	記録作成・療育準備		打ち合わせ
		15:00	登園・身支度・運動遊び
		15:30	お集まり・設定活動
		16:00	個別課題・自立課題・おやつタイム・余暇活動
		16:30	降園・記録作成

その子の発達状況や特性に応じて対応しています!



17:00	全体での振り返り	今日の出来事をグループごとに報告します。反省点よりもできたこと良かったことを報告するように掛けています!
-------	----------	--

(主査 山吉)

活動・仕事 紹介

▼キッズセンターくしろ、グループホーム、厚岸町子ども発達支援センター、白糠町子ども発達支援センター、相談支援センター「あ〜かす」・「にじ」での活動や仕事について紹介します。

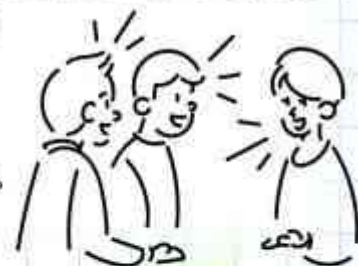
キッズセンターくしろ



“保護者学習会”
はどんなことを
しているの？

キッズセンターでは年度内に3回ほど、利用をされている保護者の方を対象とした保護者学習会を行っています。さて、その内容ですが「障がいて何？」「発達特性の理解について」「お子さんにわかりやすく伝える伝え方」などのテーマを設けて実施しています。時間は1時間半、前半は職員がテーマについての話しをして、後半はテーマにまつわるご相談をお受けして、参加された皆さんと情報を共有しています。現在は書籍やインターネットなどで簡単に情報が手に入る時代ですが、その多くの情報の中から正しい情報を得ることや、ご自分のお子さんに合った情報を探すことは難しいものです。少しでも皆さんのお役に立つことをお伝えできればと思って実施をしているのですが、近年はお仕事をされている方が多いためか参加される方が少なくなってきました。もしご興味のある方がいましたら（とはいってもキッズセンターを利用の方に限られますが・・・）、どうぞご参加ください。

（事業所長 高野）



グループホーム



どんな行事が
あるか教えて
ください！

今年度、初詣や道の駅恋問館、釧路市美術館などの外出行事を行いました。その中で印象深かったのは、全日本プロレスによる興行が湿原の風アリーナ釧路で行われ、プロレスを生で観られる機会がありました。会場に着き、観客席に移動するまでも、見慣れた体育館がプロレス会場になっており、利用者も職員もワクワクが止まりませんでした。観戦する席もレスラーが通る花道が真横にあたり、ゴングの位置が近く、その音の大きさにビックリ。

いざ試合が始まると、レスラーの迫力ある打撃音、豪快な投げでリングに叩きつけられる音、アクロバティックな技の連続で会場もヒートアップ。プロレスを初めて生で観戦していた利用者も、会場の雰囲気から周りの人の真似をして応援をしていました。

観戦後の利用者は、興奮気味に「すごかった。」「こんなに面白いと思わなかった。」と。観戦前に全日本プロレスのこと、レスラーの特徴を調べて応援したかった、次回も開催されることがあれば観戦をしにいきたいと話していました。

次年度も、利用者の方々が楽しめるような行事、企画を考えていけたらと感じました。

（支援員 堀）



厚岸町子ども発達支援センター



"避難訓練"の
様子を教えて
ください！

厚岸町子ども発達支援センターでは、火災、地震・津波、風水害と年に3回避難訓練を行っています。

火災の避難訓練は、あみかと町立病院と合同で行っています。避難訓練の前にセンター内で「おはしもち」

の説明を受け、避難方法の確認をしました。実際に火災報知器が鳴り、職員の誘導に従い、迅速に逃げることができました。避難した後は、消防士さんの話を聞き、消火訓練に参加し、消火器を使って火を消す体験をしました。

地震・津波の避難訓練は、緊急地震速報の音を鳴らし、職員の指示に従って机の下に隠れた後にコンキリエまで走って逃げています。コンキリエまでの坂道や階段なども頑張って逃げました。夏、冬など色々な気温や道路状況で行いました。

風水害は、大雨・川の氾濫・浸水を想定し避難訓練を行っています。始める前にイラストを用いながら風水害がどんなどきに起こるのか、起きたときはどうするのかお話を聞いています。職員の指示で走って逃げる子や早く走ることが難しい子は職員が抱きかかえて高いところに逃げました。

年に3回なので、利用児童全員が行うことは難しいですが、定期的に逃げるルートや職員間の連携、避難用具などの確認などをして安全に避難できるように訓練しています。

(指導員 田嶋)



白糠町子ども発達支援センター



"課外学習"は
どんなこと
してるの？

白糠町子ども発達支援センターは、放課後等デイサービスの子どもさんを対象に夏休み期間を利用して外出行事を行っています。外出行事は、普段と異なるメンバーで活動しているため子どもたちの良い交流の場となっています。今年度は、防災センター、遊学館、カラオケ、動物園の中から体験したい活動を選んで参加しました。防災センターや遊学館では、煙・地震の体験、科学体験、センターにはない遊具で遊ぶなどしました。カラオケでは実際にカラオケの機械に触れ曲を選んだり、お友だちの前で歌を歌ったりと初め緊張

しながらもみんなで歌う曲を相談しながら活動しました。動物園は、天候に恵まれず行くことができなかったため、今年度はセンター内でお楽しみ会を開催してビンゴ大会や綿あめ作りなどをしました。綿あめ機を使い一人ひとり自分だけの綿あめを作り食べて活動しました。どれも、ルールやマナーを職員と確認しながら最後まで楽しく活動することができました。

(保育士 安宅)



相談支援センター「あ〜かす」・「にじ」



相談って
どんなお仕事？

くしろ地域生活支援センターでは、釧路町から委託を受け、相談事業を実施しています。

「相談支援センターあ〜かす」は、特定相談支援（成人）および障害児相談支援、一般相談支援を行い、障がいのある方やご家族の地域生活を支えるための相談・支援をしています。

また、「相談支援センターにじ」は、釧路町児童発達支援センター内に設置されており、利用児童への支援はもちろんのこと、地域で生活されている成人の方からの相談にも対応しています。

具体的には、サービス利用や生活の困りごとについての相談・サービス等利用計画の作成・関係機関との調整などを行っています。

今後も、地域の皆さまが安心して暮らせるよう、関係機関と連携しながら支援の充実に努めてまいります。

（相談員 間山）



【お知らせ】

平成18年度より厚岸町から委託を受け、業務を行ってまいりました「厚岸町子ども発達支援センター」は、3月末をもって委託を終了いたします。これまで、ご利用させていただいたご家族等の皆様には、事業運営にご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

なお、白糠学園の閉園に伴い実施している短期入所「ふみぞの」事業については、4月より移転いたします。



【職員動向】

▼令和8年3月退職

- ・田口 裕朗
地域支援二課長 (釧路町児童発達支援センター長)
- ・池谷内 寛子
厚岸町子ども発達支援センター事業所長
- ・村本 圭佑
地域生活定着支援釧路センター相談員
- ・加藤 美有紀
釧路町児童発達支援センター指導員
- ・小林 望
釧路町児童発達支援センター指導員
- ・佐藤 智美
釧路町障害者地域活動支援センター支援員

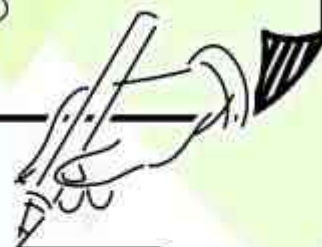
▼令和8年4月異動

- ・森崎 広幸
地域支援一課主査
→地域支援二課長 (釧路町児童発達支援センター長)
- ・相馬 筆音
厚岸町子ども発達支援センター指導員
→とまこまい地域福祉支援センター
地域支援課支援員
- ・白玉 真由美
白糠町子ども発達支援センター事業所長
→釧路町児童発達支援センター保育士
- ・安宅 梨紗
白糠町子ども発達支援センター保育士
→釧路町児童発達支援センター保育士
- ・田所 悠
キッズセンターくしろ保育士
→白糠町子ども発達支援センター事業所長
- ・田嶋 宏美
厚岸町子ども発達支援センター指導員
→共同生活援助支援員
- ・宇高 杏
釧路町児童発達支援センター指導員
→キッズセンターくしろ指導員
- ・一色 実々
釧路町児童発達支援センター指導員
→白糠町子ども発達支援センター指導員

【編集後記】

今年度最後のにじいろの発行となります。初めての広報誌作成でしたが、皆様のご協力もあり無事に発行することができました。

来年度も引き続き、くしろ地域生活支援センターの情報をお届けしていきたいと思いますので、ご協力をお願いします。
(高橋)



【発行元】

北海道社会福祉事業団
くしろ地域生活支援センター
〒088-0628
釧路町東陽大通西1-1-1
釧路町保健福祉センター
あいばー32階
TEL: (0154) 40-5551
FAX: (0154) 40-1302
E-Mail: kushiroshien
@dofukuji.or.jp